



Do you like

some more

ENGLISH?



*** 英作文のはなし ***

英語通信 vol.2 はこれで最終回を迎えます。さて、今回は英作文についてお話をします。

皆さん、英作文は得意ですか？



俺は日本語の作文でさえ苦手だぜー。



学校の授業などで英作文をする機会がそれほどないので、よくわかりません・・・。



最近の英語教育では、英会話力を重視しがちですが、中学で文法を習うのは、「話す」「読む」だけでなく、書いて自分の考えや意見を表現するためでもあります。ところが、英作文が苦手という声をよく耳にします。なぜでしょうか？



私は一つ一つの単語が分かっててもどう並べたらいいのかが分からない時があります。

英語を学ぶときに、まず知っておきたいのは、日本語と英語では構文が違うということです。



構文って何だ？

日本語でも英語でも文章はいろいろな要素で組み立てられていますよね？この文の「組み立て」を構文と言います。構文の違いを例でみてみましょう。

I have a pen / 私はペンを持っています。

I run in the park every morning / 私は毎朝公園で走ります。



日本語の文では「何を」「どこで」「いつ」が動詞の前に置かれているのに対し、英語の文では、have, run という動詞の後に置かれています。もし、日本語の語順で並べるとしたら、I a pen have / I every morning in the park run となりますが、これは英語でなくなります。

ですから、英作をするときに気を付けなければいけないのは、日本語を英語の構文にしなければいけないところです。

英語は結論を優先する言語で、結論に付帯する情報は後から追加されていきます。それに対して日本語は、先に付帯情報を述べてから結論に至ります。英語がすぐに何を言いたいのかわかるのに対して、日本語は最後まで聞かないと分かりません。私の考えですが、これは、狩猟・戦闘型民族(英語)と農耕民族(日本語)の違いではないかなと思います。



ということですか？

あくまでも、私の持論です。狩猟・戦闘型民族は敵に囲まれて生きているので、先に結論を言っておかないと、結論を言わないまま命を落としてしまうことがある。農耕民族のまわりは作業仲間なので、のんびり話していても最後まで聞いてくれる。このような環境がこの構文の違いになっているのではないかと考えています。



少し話がそれてしまいましたが、英語の構文に気をつけながら文を作ってみましょう。

ところで、皆さんは、ごみを捨てるときは分別をしますか？



するよ。一般ごみ、プラスチックごみ、ペットボトルとアルミ缶のリサイクルごみって。

それぞれのごみを別の箱に入れる要領で、英語の構成要素を箱に入れて分別してみましょ。英語の語順は次のようになります。



誰が・何が

する・です

なに(を/に)・だれ(を/に)

どこ いつ

例) 学塾の生徒たちは昨日イスを別の教室に運んだ。

学塾の生徒たちは

運んだ

イスを

別の教室に 昨日

となりますね。

では、これを英語にすると・・・

The students of Gakuyuku

carried

chairs

to another classroom yesterday.



「どこ」「いつ」というのはどういう語順になるのですか？

通常は「場所」、「時間」という順になります。

もう一つ注意しておきたいことがあります。英語では「誰が」「何が」という主語が必ずありますが、日本語では、主語がない文があります。さあ、次の例を英語にしてみてください。



例) 宿題はしたの？

homework is・・・う～ん、分かりません。

ここは、「したの？」の主語をまず考えます。誰に「宿題はしたの？」と聞いているのでしょうか？



話者の相手ですよ？…ということは you?

そうですね。この文は主語の you を補って考える必要があります。「宿題は」は目的語です。

<英作文> Did you do your homework? / Have you done your homework?



ではこれはどうですか？「ぞうは鼻が長い」

Elephant is nose is long.

英語の一文で動詞は一つというのが基本です。この場合、長いのは象でしょうか、鼻でしょうか？



長いのは・・・鼻？ では、長い鼻は誰のもの？ 象！

象は鼻が長い→象の鼻は長い と書き換えられますよね。直訳すると

Elephants' trunks(鼻) are long. / The trunks of elephants are long.

と言えますが、これは英語として少し不自然です。象は・・・で始まる文を考えると、

Elephants have long trunks.



ということで、より自然な英語の文章を作ろうと思ったら、象は鼻が長い→象の鼻は長い→象は長い鼻を持っている という発想の転換が必要となってきます。



むずかし～！

「習うより慣れろ」という言葉がありますが、これを英語で言うと Practice makes perfect. とにかく、沢山文章を書くことが英作力をつける一番の勉強法です。簡単な文章、例えば毎日一行日記などを英文で作ってみてはどうでしょうか？

英語通信 Vol.1 と Vol.2 とご愛読ありがとうございました。Vol.3 は少し形を変えて発信していきたいと考えていますので、よろしく願いいたします。



Vol.2 完